

第6期事業報告書

自：平成30年4月1日 至：平成31年3月31日

1 概況報告

当会は、一般社団法人として新しくスタートして6期目を終わりました。時代の変化に柔軟に対応しながら組織の成長を着実に進め強い使命感をもって会作りに努め会員企業へ貢献してまいりました。

平成28年1月から社会保障・税・災害対策に対応したマイナンバー制度が導入されました。

当会では、マイナンバーの適正な取扱いに向け、個人番号の取扱いについて個人情報取扱規定を整備致しました。確定申告書にはマイナンバーの記載が義務化されましたが会員皆様のご理解とご協力により本年もスムーズに事務処理をする事が出来ました。

また、国が進める電子政府の実現に呼応した諸事業を推進して参りました。さらに地域に密着した公益性の高い事業活動を推進してまいりました。

なお、高齢化がさらに進展していくなかで、申告納税手続きやマイナンバー制度など様々な仕組みが複雑になっているのに対応して、所得税や消費税の仕組みの簡素化を図るため、全青色を通じて改正運動を推進してまいります。

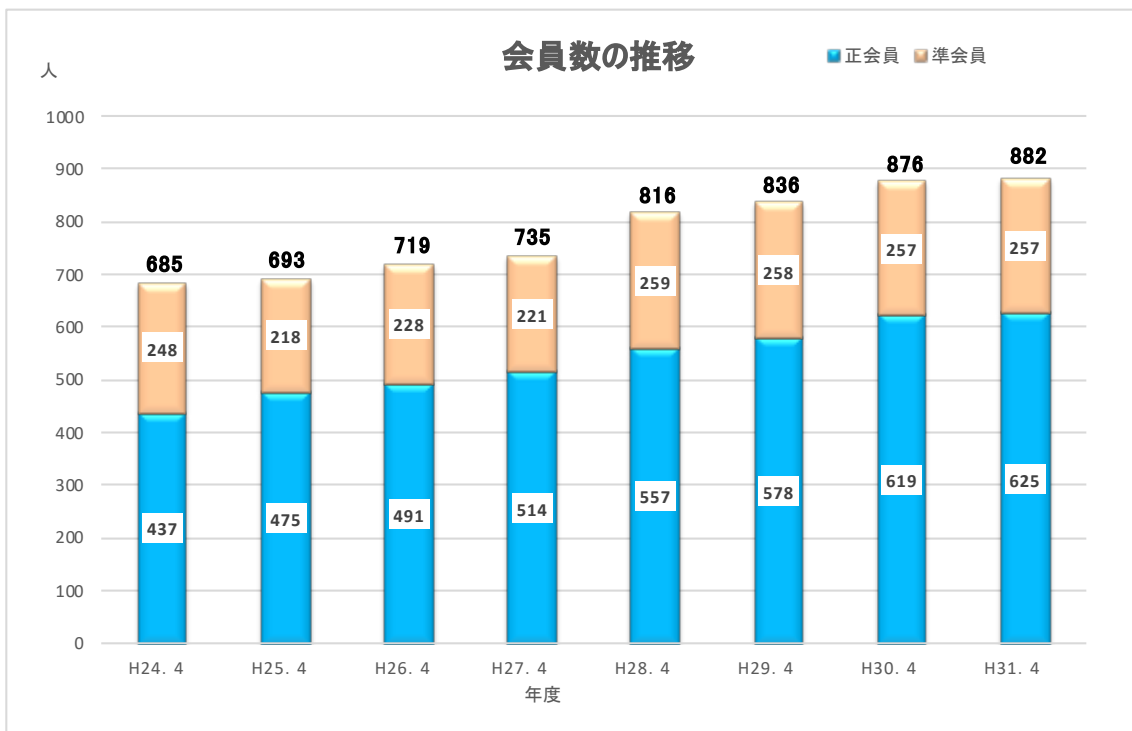
指導活動では、改正された税法の周知を図るとともに複式簿記を中心とした青色学級の開催を致しました。さらに会計ソフトブルーリターンAの普及を図り、青色申告特別控除65万円の適用と適正申告の推進に努めました。また、本年度も昨年に引続き4月～1月までの10ヶ月にわたり派遣税理士による無料税務相談日を月2回開設し、記帳・税務等の相談会を実施致しました。さらに確定申告期の2月1日から4月1日まで延べ34日間にわたり所得税・消費税の確定申告指導相談会を派遣税理士の支援を受け実施しました。

組織運営の強化では、青色申告制度の普及と会員増強に努め、税務署主催の記帳開始説明会等へ出席し青色申告制度の普及推進と会員増強に努めてまいりました。

また、国税局主催の記帳講習会「説明会による記帳指導」及び「会計ソフトを利用した記帳指導」を受託致しました。平成30年7月から平成31年1月まで毎月1回開催し、記帳方法の指導や決算書・申告書の作成方法について指導、さらにe-Tax・マイナンバーの普及推進に努めました。

福利厚生事業等では、専門家による無料税務・法律相談会、会員親睦会、健康増進講座の実施や青色互助会の利用を始めとしたサービスの周知及び全国青色申告会総連合の各種共済制度の加入促進に努めました。

2 会員の状況



(1) 平成30年度入退会者経路内訳

平成31年3月31日現在

正会員入会者

入会経路	人数	割合	割合
会計ソフト講習会	21	41.2%	62.8%
記帳説明会	11	21.6%	
会員より紹介	8	15.7%	37.2%
その他	6	11.8%	
ホームページ	5	9.7%	
合計	51	100%	100%

参考：退会者 退会理由内訳

退会理由	人数	割合	割合
廃業	23	51.1%	77.8%
自計可能	12	26.7%	
税理士関与	7	15.6%	22.2%
その他	3	6.6%	
合計	45	100%	100%

【正会員】 前年会員数 619 + 増加数 51 - 減少数 45 = 会員数 625

(内部異動1名含む) (内部異動2名含む)

【準会員】 前年会員数 257 + 増加数 13 - 減少数 13 = 会員数 257

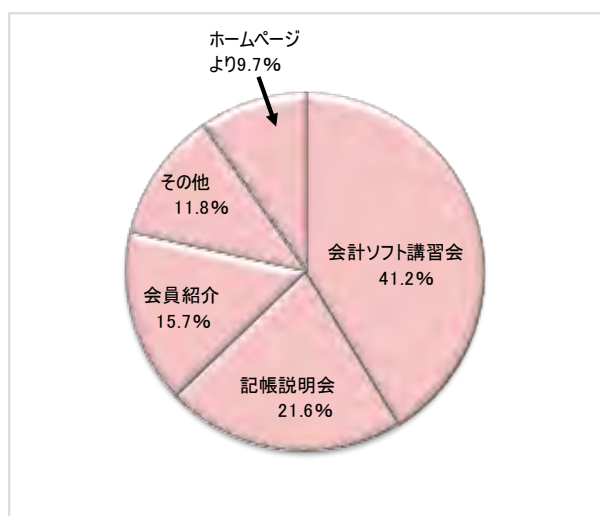
(内部異動5名含む) (内部異動4名含む)

【会 員】 前年会員数 876 + 増加数 64 - 減少数 58 = 会員数 882

実質増減 876 + 64 - 58 = 882

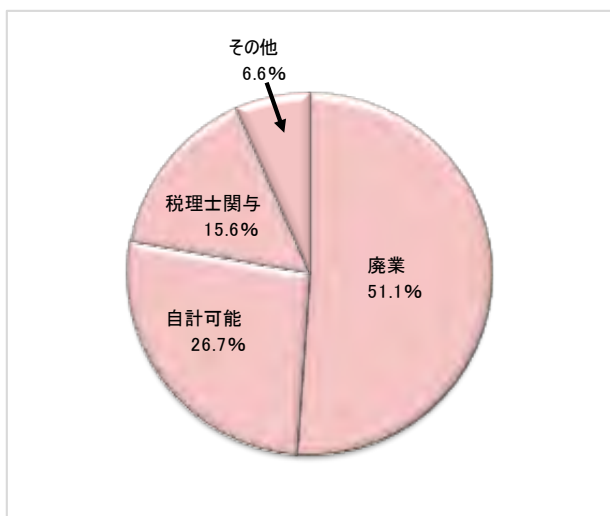
入会理由

(平成30年4月～平成31年3月)



退会理由

(平成30年4月～平成31年3月)



第6期 平成30年度収支決算書

〈正味財産増減計算書〉

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

経常増減の部

(1) 経常収益

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
1. 会費収入	18,574,980	
正会員	16,634,200	
準会員	1,940,780	
2. 事業収入	22,448,669	
記帳・決算指導収入	15,209,116	
講習会事業受託収入	4,543,647	
全青色手数料	1,601,699	全青色共済・B R A販売手数料
小規模共済手数料	611,140	
その他手数料	483,067	ガン保険・自動車保険等紹介手数料
3. 雑収入	523,264	
経 常 収 益 計	41,546,913	

(2) 経常費用

科 目	決算額	備 考
1. 事業費	9,247,225	
周年記念事業費	537,186	女性部結成40周年
講習会事業費	2,477,446	講師謝金・会場費・テキスト代
I T 関連推進費	1,050,347	e - t a x ・ I T 関連費用

	指導交通費	781,321	指導交通費
	部会研修活動費	565,593	女性部・青年部活動費
	社会貢献活動費	312,480	市民祭活動費・納貯連助成金
	広報・会報発行費	855,033	会報費・HP 作成更新・渉外費
	会議費	1,303,819	理事会・全青色・県連
	会費負担金	464,000	上部団体・関連団体会費
	派遣税理士報酬	900,000	税理士会小倉支部会員
2. 管理費		31,042,492	
	給料手当	20,102,815	役職員給与
	福利厚生費	4,283,986	社会保険料・雇用保険料
	退職金共済掛金	810,000	中小企業退職金掛金
	旅費交通費	317,150	旅費・日当
	通信費	974,763	電話料・資料郵送料
	図書研究費	59,719	図書購入費
	消耗品費	246,516	事務用品費
	支払家賃	2,589,666	事務所賃借料・共益費
	慶弔・見舞金	120,000	
	租税公課	950,024	消費税・法人税等
	雑費	587,853	
	経常費用計	40,289,717	
	当期経常増減額	1,257,196	

一般正味財産期首残高	7,533,856	
一般正味財産期末残高	8,791,052	

貸借対照表
(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	172,721	預 り 金	171,215
普 通 預 金	15,271,863	預 り 出 資 金	8,700,000
未 収 入 金	1,382,700		
商 品	32,275		
前 払 金	81,608	次 期 繰 越 金	8,791,052
敷 金	693,600		
出 資 金	27,500		
合 計	17,662,267	合 計	17,662,267

上記決算額に誤りなく適正であることを確認致しました。

平成 31 年 4 月 24 日

監 事 岩 本 政 明

監 事 岩 永 博 行

財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

1. 資 産 の 部

(単位:円)

資 産 の 種 類	銀 行 名 等	支 店 名	金 額	口 座 番 号
現 金			172,721	
普 通 預 金	伊 予 銀 行	北 九 州 支 店	137,304	1218941
	〃	〃	40,442	1218958
	福 岡 銀 行	〃	13,851,701	2845061
	ゆ う ち ょ 銀 行	振 替 貯 金	242,408	01770-6- 109878
	福 岡 ひ び き 信 用 金 庫	小 倉 支 店	1,000,008	
			15,271,863	
未 収 入 金	会 費 ・ 記 帳 指 導 料		1,382,700	
前 払 金	ブ ル ー リ タ ー ン A		81,608	
出 資 金	一 般 社 団 法 人 全 国 青 色 申 告 会 総 連 合		27,500	
事 務 所 敷 金	毎 日 会 館 西 部 本 社		693,600	
商 品	営 業 日 誌 ・ 封 筒 等		32,275	
		財 産 合 計	17,662,267	

財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

2 . 負 債 の 部

(単位:円)

負 債 の 種 類	負 債 の 内 容	明 細	金 額	備 考
預 り 金	預 り 社 会 保 険 料	従業員社会保険料	<u>171,215</u>	
預 り 出 資 金			<u>8,700,000</u>	
		負 債 合 計	8,871,215	
		正 味 財 産	8,791,052	

監 査 報 告 書

第6期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の決算及び事業活動について監査を行った結果、適正に処理されており、報告書と相違なく、その処理は明瞭かつ適正であることを認めます。

監査実施日 平成31年4月24日

一般社団法人小倉青色申告会

監 事 岩 本 政 明

監 事 岩 永 博 行

4. 活動状況

【会の現況】

組 織	会員数等	入会（就任）数 （平成30年4月1日～31年3月31日）	退会（退任）数 （平成30年4月1日～31年3月31日）	備 考
会員数（正会員）	625名	51名	45名	平成31年3月31日現在
会員数（準会員）	257名	13名	13名	
役員数 （理事・監事）	理 事 28名 監 事 2名	0名 0名	1名 0名	名誉役員3名
青年部	部 員 22名	0名	0名	
女性部	部 員 18名	0名	0名	
事務局	職 員 4名	0名	0名	確定申告期アルバイト3名

【法人の運営に関する事業】

事業（会議）名	開催（実施）日	開催回数	出席人数（全体）	備 考
監査会	4月25日・8月7日	2回	4名	平成29年度事業・決算監査
正副会長会議	4月26日	1回	10名	第5回定時総会の議案審議
理事会	5月11日・8月10日	2回	49名	平成30年度事業・財政の計画と実績報告
県連傘下青色申告会 定時総会	5月8日・5月22日・6月1日 6月11日・6月13日	5回	6名	行橋会 20名 (一社)西福岡会 100名 戸畑会 80名 豊前市会 30名 久留米会 80名

【公益目的事業の推進に関する事業】

1.申告納税制度の推進と納税意識の高揚に資する事業

(1) 記帳や税務等に関する説明会、指導会等を開催した事業

事業名	開催日	事業の概要	講師等	会場	周知方法	参加者	備考
						会員・一般等	
無料記帳指導会	4月3日・4日	複式簿記講習会	事務局職員	毎日西部会館	AIM青色コーナー	11名	
記帳説明会	6月19日	記帳開始説明	税理士	小倉税務署	小倉税務署	95名	新規青色事業者対象
新規入会者記帳指導会	4月19日・20日	記帳個別指導	事務局職員	毎日西部会館	HP掲載・青色だより	17名	
第41回小倉青色学級	6月21日	BRA講習会	事務局職員	毎日西部会館	HP掲載・青色だより	21名	
源泉徴収事務指導会	6月28日・6月29日	源泉納付個別指導会	事務局職員	毎日西部会館	HP掲載・青色だより	83名	
国税局受託指導会	7月23日～1月30日	講習会	派遣税理士 事務局職員	小倉・八幡 行橋・直方 田川・飯塚	国税局・税務署	(延)	
記帳説明指導会 (全30回)		説明会 35講座				(338名)	
会計記帳指導会 (全20回)		会計 40講座				(477名)	
消費税説明会	11月27日	消費税軽減税率制度	小倉税務署	毎日西部会館	HP掲載・青色だより	53名	
記帳確認指導会	11月29日	記帳個別指導	事務局職員	事務局	HP掲載・青色だより	40名	
決算説明会	12月3日	決算説明・個別指導	税理士・事務局職員	小倉税務署	小倉税務署	15名	
消費税説明会	12月6日	消費税等説明会	税理士・事務局職員	小倉税務署	小倉税務署	32名	新規課税事業者
決算説明会	12月17日	決算説明・個別指導	事務局職員	毎日西部会館	HP掲載・青色だより	45名	会計ソフトを利用
年末調整事務説明会	12月18日・19日	年末調整個別指導	事務局職員	毎日西部会館	HP掲載・青色だより	90名	
所得税・消費税 申告指導会	2月1日～3月31日	所得税・消費税 個別指導	派遣税理士 事務局職員	事務局	HP掲載・青色だより	所得税 669名 消費税 162名	

(2) 適正申告の実践を推進するため、税務に関する相談会を開催した事業

事業名	開催日	事業の概要	講師等	会場	周知方法	相談来会者数	備考
税務相談日	4月9日 4月23日 5月7日 5月21日 6月4日 6月18日 7月2日 7月23日 8月6日 8月20日 9月3日 9月18日 10月3日 10月15日 11月5日 11月26日 12月3日 12月17日 1月7日 1月21日	相続税・贈与税 所得税・消費税 譲渡所得等	H30年4月～ H31年1月 西尾 榮 税理士	事務局	HP掲載・ 青色だより	11件	
確定申告指導相談会	2月1日～4月1日	所得税・消費税 譲渡所得等	堀 税理士 西尾税理士 齋合税理士 白石税理士 則松税理士	事務局	HP掲載・青色だより	669名	

(3) 青色申告制度の普及を図る事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数	備考
青色コーナー相談事務	2/19・2/21・2/25・2/27・3/1 3/5・3/7・3/9・3/13・3/15	10日間	50名(延) 利用者数133名 青色承認申請書提出95名	青色申告の勧奨及び内容説明 役員・青年部・女性部

2.地域の振興と健全な発展に資する事業

(1) 元気な地域社会創造のため各種行事等を主催、支援、参加した事業

事業(会議)名	開催(実施)日	出席人数(延)	内容
中学生の税の作文事業	6月～12月	118名	小倉納税貯蓄組合主催作文事業の支援 作文募集から審査並びに表彰式

3. その他の事業(収益事業)

(1) 事務管理を受託する事業

- ① 国税局からの受託事業「説明会方式による記帳指導等」・「会計ソフトを利用した記帳指導等」を7月～1月まで毎月開催した。
- ② (株)ビジネスクリエイトによるカーリース事業等を推進した。

4. その他の事業(相互扶助事業等)

(2) 機関誌や情報誌を発行する事業

- ① (一社) 全国青色申告会総連合機関誌「ブルーリターン」を毎月12回配布した。
- ② (一社) 小倉青色申告会「青色だより」を年9回発行し配布した
- ③ 事業者の経営や生活等に関する情報の提供等に関する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	出席人数(延)	内 容
第41回小倉青色学級	6月21日	21名	「これで安心、相続対策」 司法書士 柳 宏幸 先生
			「もらい忘れていませんか? 障害年金」 社会保険労務士 平井 晋哉 先生

5. 上部団体との連携強化

(一社)全国青色申告会総連合の運営に関する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数	備考
・正副会長会議	4月26日	11回 (出席1回)		北部九州青色申告連合会会長 福岡県青色申告会連合会会長
・理事会・事務局長会議	4月26日 11月28日			
・税制委員会	5月11日			
・組織事業局会議	5月10日～11日			
・税制改正要望大会	11月29日			

6. 女性部・青年部の運営に関する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数(全体)	備考
女性部・青年部定時総会	6月1日	1回	20名	H29事業・決算報告とH30事業計画
県連女性部定時総会	6月22日	1回	5名(15名)	県H29事業・決算報告とH30事業計画
県連青年部定時総会	6月22日	1回	6名(17名)	(一社)小倉・(一社)西福岡・久留米
中学生の税の作文募集依頼事務	6月25日 (作文募集依頼6/26～6/29)		18名	小倉税務署共催事業
中学生の税の作文審査会	9月12日～13日	2回	27名	納税貯蓄組合・法人会・間税会
フットサル交流会	11月3日	1回	8名(17名)	久留米青色申告会と交流試合

6. 女性部・青年部の運営に関する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	共催・日数	出席人数	備考
女性部結成40周年記念式典 第23回女性スクール	11月9日		法人会 3名 間税会 4名 税 相 8名 青申会 27名 (計42名)	講師 福岡国税局課税一部長 鈴木 敏充様 演題 「税務署あれこれ」
確定申告事務運営会議	1月17日	1日	18名	確定申告会場(AIM)・青色コーナー事務運営
確定申告会場受付・ 青色コーナー	2/18～3/15	10日間	延べ50名	確定申告会場(AIM)・青色コーナー事務運営

7. 会員の福利厚生、親睦及び利便に資する事業

(1) 会員の福利厚生及び親睦に関する事業

- ①会員の健康維持、増進のため「健康講座」を開催した。
- ②(一社)全国青色申告会総連合の各種共済制度を普及推進した。
- ③小規模企業共済制度、中小企業退職金制度を普及推進した。
- ④あおいろ互助会(冠婚葬祭事業)の利用を勧奨した。
- ⑤会員の親睦と交流の推進

事業(会議)名	開催(実施)日	出席人数	内容
第9回青色の集い	11月9日	71名	記念講演 演 題 「～税金、納めないとどうなる?～」 講 師 小倉税務署長 吉丸 純市 様
			会員親睦・異業種交流会(税金クイズ・税の勉強会他)

(2) 会員の利便に関する事業

- ①会員メリットの拡大を目的とした提携企業との共同事業の推進
(有)中村組葬儀社、アメリカンファミリー生命保険、オリックス自動車、日本旅行、門司港ホテル、ステーションホテル小倉等

8. 友誼団体との連携及び協調に資する事業

(1) 関係官公署と協議、連携する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数(全体)	備考
小倉地区税務相談所との事務連絡会議	5月10日・8月8日・10月1日	3回	12名(39名)	小倉税務署後援

(2) 北部九州青色申告会連合会及び福岡県青色申告会連合会との連携を図る事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数(全体)	備考
北部九州ブロック事務局会議	4月17日	1回	2名(7名)	ホテルニュー長崎
県連理事会(事務局合同)会議	5月9日	1回	4名(23名)	大博多ビル
福岡県青色申告会連合会定時総会	6月22日	1回	13名(83名)	ANAホテル
北部九州青色申告会ブロック研修会	7月25日	1回	4名(75名)	ホテル日航博多
北部九州青色申告会定時総会	10月18日	1回	2名(53名)	ホテルニュー長崎
北部九州ブロック大会	10月18日	1回	20名(194名)	記念講演 演題「統計でみる北部九州と税務行政」 講師 福岡国税局長 小原 昇 様

(3) 関係友誼団体との連携を図る事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数(全体)	備考
小倉間税会平成30年度通常総会	5月16日	1回	1名(120名)	ステーションホテル小倉
小倉納税貯蓄組合連合会定時総会	5月24日	1回	27名(31名)	毎日西部会館
(公社)小倉法人会第6回定時総会	6月6日	1回	1名(150名)	ステーションホテル小倉
九州北部税理士会定時総会	6月14日	1回	1名(300名)	ホテルオークラ福岡
小倉納税推進協力会主催 「税を考える週間」イベント	11月11日～17日	1回	100名	11月2日「小倉イルミネーション点灯式」 税に関するDVDの上映他

(4) 青色21ネットワーク研究会を積極的に支援する事業

事業(会議)名	開催(実施)日	開催回数	出席人数(全体)	備考
役員会	4月19日・20日・11月20日	3回	5名(75名)	広島市・浜松市
研究集会	6月19日・20日・12月7日	2回	6名(200名)	北九州市(120名)・名古屋市(80名)
定時総会	12月6日・7日	1回	1名(70名)	名古屋市
サマーセミナー	9月7日・8日	2回	1名(50名)	名古屋市

8. その他

平成30年11月9日小倉税務署吉丸純市署長より、納税制度の普及発展及び納税思想の高揚と税務行政の円滑な運営に貢献した功績に対して
当会が団体感謝状を受けました。

第7期令和元年度事業計画書

(自平成31年4月1日～至令和2年3月31日)

I 基本方針

当会は、健全な納税者団体として、平成25年4月に一般社団法人小倉青色申告会を設立いたしました。本年度は、一般社団法人としての7期目にあたりますが、引き続き、公益法人の趣旨に沿った地域社会貢献事業の推進や、会員のための幅広い事業活動の推進を目指してまいります。また、青色申告会のネットワークを活用して、21世紀の変革する情報化社会に対応する諸問題を解決してまいります。

特に、会員の記帳・決算・申告については、全青色が開発したブルーリターンAを活用して、正確な記帳、適正な申告の支援を目指します。さらに、会員の税務については、税理士会との派遣税理士契約に基づき、税理士による、税務相談を行い、正しい税知識の習得を図ってまいります。

II 具体的な事業活動

1. 会員の指導及び経営に関する事業

- (1) 会計ソフト「ブルーリターンA」を活用して、正確な帳簿の作成の指導を行う。
- (2) 白色申告者記帳義務化を受け、白色申告者に対し青色申告制度の周知と勧奨を積極的に行う。
- (3) 政府がすすめるICTの促進を図るため、e-Taxによる確定申告書の提出を推進する。
- (4) マイナンバー制度の周知徹底を図り、会員企業に確実に定着するよう指導する。
- (5) 税理士会小倉支部派遣税理士による税務相談日を毎月2回開設する。

なお、確定申告期間中については、税理士会小倉支部派遣税理士の監督指導のもと毎日、税務相談を行う。

- (6) 会計ソフト「ブルーリターンA」で記帳して、青色申告特別控除65万円を活用する。

- (7) 青色専従者給与の適正な支給など、合理的な節税方法を研鑽する。
- (8) 小倉税務署、北九州商工会議所と連携・協調を図り、記帳指導会・税法説明会・経営相談会を開催する。

2. 納税意識の高揚を目的とする事業

- (1) 女性スクールを実施して、税の勉強会を行い、税知識の普及を図る。
- (2) 青色学級を開催、税知識や税の大切さを学ぶ。
- (3) 小倉納税貯蓄組合連合会と協調して事業活動を行う。また、納貯連の組織の強化を図るため、資金面においても支援する。
- (4) 青色の集いの開催。税をテーマにした講演会で、税についての知識を習得する。

3. 税制・税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

小規模個人事業者の税負担の軽減、適正公平な税制の確立に関する提言を行う。

- ① 個人事業主に勤労性を認めた青色事業主勤労所得控除の創設を要望する。
- ② 社会保障制度の抜本的な改革について提言する。
- ③ 会員の要望する税制に関する要望事項を（一社）全国青色申告会総連合の税制委員会に具申する。
- ④ （一社）青色21ネットワーク研究会でとりまとめた「税制に関する提言」を踏まえて、当会の要望意見の参考とする。

4. 情報提供サービスに関する事業

- (1) 機関紙「青色だより」や青色申告会のホームページの内容の充実を図り、各種情報を提供する。
- (2) （一社）全国青色申告会総連合が発刊する情報誌「青色申告」を、毎月無料で配布する

5. 地域社会に貢献することを目的とする事業

(1) わっしょい百万夏まつりへの協賛と祭りへの参加

市庁舎を中心に繰り広げられる夏祭りに協賛して、青年部・女性部が中心となって参加して、e-Taxの普及広報を行い、併せて当会のPRを行う。

(2) 確定申告期の青色申告コーナー充実強化を推進、青年部員・女性部員を派遣して、青色申告の相談や記帳の仕方、青色申告承認申請書の書き方の指導を行う。

(3) 北九州商工会議所や小倉地区税務相談所と共催して、一般納税者を対象とした記帳講習会・記帳指導会を実施する。

6. 会員の福利厚生のための事業

(1) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、経営者や従業員の病気や事故による死亡、高度障害、入院等を保障する最適な保険として、全青色共済制度の普及推進を図る。

(2) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、がん保険制度を普及推進する。

(3) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、節税にも効果のある「小規模企業共済制度」、「中小企業退職金制度」、「国民年金基金制度」等の普及推進を図る。

(4) 会員企業の経営の安定、安心を目的として、「あおいろ互助会(冠婚葬祭事業)」の利用促進を図る。

7. 会員の交流を図るための事業

会員の交流と相互の意思疎通を図ることを目的として、次の事業を行う。

① 第6回社員総会懇親会の実施。

② 第10回青色の集いの実施。

③ 第24回女性スクールの実施。

- ④ 新春講演会及び新年賀詞交歓会の実施。
- ⑤ 青年部によるフットサル交流会の実施。

8. その他この法人の目的達成に必要な事業

- (1) 第57回北部九州ブロック大会（北九州市）を主管し、大会運営を推進する。
- (2) （一社）全国青色申告会総連合が開催する事業、研修会への参加。
- (3) 北部九州青色申告会連合会、福岡県青色申告会連合会が開催する事業、研修会への参加。
- (4) 青色21ネットワーク研究会が開催する研修会への参加。
- (5) 税を考える週間中に行われる各種行事やイベントへの参加。
- (6) 小倉納税推進協力会が行う各種行事やイベントへの参加。
- (7) 小倉納税貯蓄組合連合会の事業活動を支援するために、事業・財政の両面から援助する。

◎ 最重点事業の推進

- ・令和元年10月に予定されている消費税10%への引上げ、また同時に導入される軽減税率によって混乱が生じないように、国税当局と連携して軽減税率制度の講習会・説明会を開催し制度の周知に努める。
- ・国税電子申告・納税システム「e-Tax」の利用促進に寄与するため、昨年に引き続き資料等の情報を提供して、会員のイータックス利用拡大を推進する。
- ・社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の記載の励行を推進し、制度の円滑な普及促進に寄与する
- ・青色申告コーナーへの支援を強化し、青色申告制度の普及促進を図るとともに青色申告会のPR活動を推進する。